

御嵩町新庁舎建設基本計画（案）に関する
パブリックコメントの実施結果について

1. 実施結果の概要

耐震性に問題のある役場本庁舎の新庁舎建設にあたり、新庁舎の規模、配置計画、導入機能など、新庁舎の整備にあたっての基本的な方針となる「御嵩町新庁舎建設基本計画」策定の参考とするため、「御嵩町新庁舎建設基本計画（案）」についてパブリックコメントを実施しました。

その結果、3名の皆様からご意見を頂きました。頂いたご意見と町の考えは下記のとおりです。

なお、提出されたご意見は、趣旨を損なわない程度に要約し、できる限り内容ごとに整理・分類した上で、町の考えを示しています（順不同）。趣旨が不明瞭なご意見などについても、意見内容を公表し、町の考えを示しています。

(1) 実施期間

令和元年8月8日（木）～令和元年8月27日（火）

(2) 意見の提出状況

- ① 提出者数：3名
- ② 意見数：101件

2. いただいたご意見と御嵩町の考え方

NO	頁	ご意見（要旨）	御嵩町の考え
【新庁舎の機能】			
災害対応拠点機能			
1	6	マンホールトイレは、本当に使い物になるか。	災害時の避難所においては、トイレの確保は最も重要な事項のひとつであると考えています。ご意見頂いているようにマンホールトイレは、下水道施設が被災した場合には使用できないと考えられます。そのため、災害時においては、携帯トイレ・簡易トイレ・仮設トイレ等とマンホールトイレを組み合わせ準備し、できるだけ
2	6	マンホールトイレが必要となるときは、下水道が機能しなくなってる時。	
3	6	マンホールに便器を乗せて排泄物を落としたり、あつという間に満杯になってしまう。	
4	6	その後どうする？下水道復旧の障害になるだけとしか思えな	

		い。	良好なトイレ環境を確保して行くことが重要であると考えています。
5	6	地下に大きな貯留槽を作ってそこに一時的に排泄物を溜めることも考えられるが、昔のくみ取り式と同じで臭くて使えない。	特にマンホールトイレは、備蓄が容易で、日常使用している水洗トイレに近い環境を迅速に確保が可能です。また、し尿を下水道管路に流下させることができるため、衛生的であり、臭気、し尿抜き取りが軽減されます。
6	6	排泄物を固化して処理する方法が一番現実的では無いかと思う。	熊本地震においても、マンホールトイレは洋式であること、仮設トイレに比べて段差がないこと、掃除がしやすいことで、利用者に好評であったという事例もあります。段差がないことにより、要配慮者も利用しやすくなります。
7	6	最近の便器は超節水になっているので、貯留槽の設置、洗浄水の確保、切替ますの設置で、水洗機能のある程度維持することが出来る。(新城市の新庁舎はそのようになっている)	また、新庁舎内のトイレについても、雨水の利用等による省資源を検討してまいります。
8	6	災害時の中枢機能となる災害対策本部の部屋は常設でしょうか、また臨時転用でしょうか。それによって、建設構造も異なってくると思いますが。	災害対策本部については、必要な機能と構造上十分な安全性を確保します。常設か、転用をするかについては、構造、効率的な利用方法等の検討と併せて、今後の設計で検討してまいります。
町民サービス機能（駐車場）			
9	9	エレベーターを考えるのなら、2階建てに拘る必要は無いと思う。	防災機能、ユニバーサルデザイン、通常時の利活用等について、今後、設計段階で検討します。
10	9	エレベーターの停止階が一つや二つ増えても、コストは大して上がらない。	

11	9	防災拠点として考える場合、1～2階を自走式立体駐車場とすることで、洪水対策、災害発生時の安全空間確保。という考えもあり得る。	
12	9	バリアフリーはエレベータと車路の設計で対応できると思う。	
13	9	建物内の駐車場は、一時避難場所、臨時資材置き場、イベントスペース等に使える。	
町民サービス機能（窓口）			
14	12	オフィスレイアウトを考えたときに、滅多に役場に来ることがない来庁者が迷うことなく目的の所へ行くことが出来る。事が肝要と、一般的には考える。	<p>町民の誰もがわかりやすく利用しやすい庁舎をめざし、案内表示は、高齢者や障がい者等、誰もが見やすく、また、来庁者の利用目的に応じたわかりやすい表示に統一します。</p> <p>また、利用頻度の高い窓口は1階に集約して配置します。</p> <p>案内表示の設置方式、効率的な窓口対応を含め、町民目線に立った利便性の良い動線計画を検討します。</p>
15	12	最近、病院でも取り入れはじめている、総合診療科のような機能を持った部署を置き、住民は「ここへ行けば全ての用が足りる」ようにすることが理想。	
16	12	専門知識を持った職員が対応する必要がある場合でも、住民が動くのではなく、職員が動く。そんな形が出来れば、オフィスレイアウトはかなり自由になる。	
17	12	総合受付を担当する職員が、住民の要望に合った担当者と呼ぶスキルを身につけることで、従来縦割りだった役所内部の意思疎通に横の繋がりが出来、より効率的な業務運営が出来るようになると思う。	

町民交流活動機能			
18	10	計画の中身が、庁舎のみではなく、町民の交流拠点のような、本来の目的外の物がかなり含まれている。	現庁舎は耐震基準を満たしていません。また、耐震性の問題の他、設備の老朽化、バリアフリー等の課題もあります。これらの課題を解決した上で、庁舎と同じ場所に交流機能等を計画することで、人が集まりやすく、賑わいが生まれやすいと考えております。
19	10	防災拠点、町民の交流、地域活性化に関する物は、移転後に空き家となる現庁舎を耐震補強した上で対応することも可能と思う。(有ったらいいなと、絶対必要を選別する必要がある)	現庁舎の利活用方法については、現状、耐震性が低い建物であり、通常使用は難しいと考えております。今後、町民の方との意見交換等を踏まえ、検討してまいります。
20	10	町民協働・交流スペースが庁舎内、もしくは直近にどうしても必要となるとは思えない。	導入機能については、今後も町民ニーズの把握に努め、費用対効果を十分に検討した上で、設計段階に移ってまいります。
21	10	売店や、食堂についても同じ事が言えると思う。(庁舎に売店や食堂は無くて困らない)	
22	5 10	基本方針3に有るように、スリムで機能的な庁舎に徹し、八方美人にならないように。	
行政執務機能			
23	11	隣接する会議室との音響や声の漏れなどに配慮され、移動間仕切りの防音対策をしっかりとされたい。(参考として現在の北庁舎2階会議室)	防音性と室の可動性の両方を実現できるような、間仕切りを検討してまいります。
24	13	計画案に示されているパターンは、もっと大規模な場合を想定した物と思う。	町民の方の利用頻度の高い窓口、関連する手続の担当窓口は隣接して配置する等、町民の皆様が

25	13	御嵩町クラスの規模であれば、前述した住民窓口と、業者等の窓口を考えれば、自ずと決まってくると思う。	利用しやすい平面基本パターンを検討してまいります。 また、必要に応じてプライバシーに配慮したスペースを確保します。
26	13	具体的には両端コア案の片側を無くし、コア側の業務サポートゾーンをエントランスとする。その上で、住民対応スペース、業者対応スペースをできるだけオープンに配置。加えて、プライバシーが確保される対応ゾーンを計画する。	
27	14	町民解放エリア II は、必ずしも庁舎内に必要とは思わない。(庁舎内の会議室を、空いているときに住民活動に利用出来るようにすることは歓迎する)	閉庁日や、開庁時間外の利活用も含め、今後の設計において、セキュリティにも配慮しつつ地域交流に貢献し、広く町民に活用される庁舎を検討してまいります。
議会機能			
28	15	議会機能は、本当に庁舎内に必要か。を考える必要がある。	議場についても現庁舎に設置されており、併せて移転を計画しています。
29	15	機能的には、役所の機能とはまったく異なることをやる場所なので、計画案で検討している機能を満たすことが出来れば、どこにあっても良いのではないか。	議会施設の整備につきましては、町民の接しやすさや親しみやすさを考慮しながら、町議会のご意見を参考にしつつ、計画してまいります。
30	15	例えば、伏見公民館を地域の防災拠点と位置づけて建て直し、そこに設けることもあり？	
31	16	たかだか十数人の議員に対し、馬蹄形にする必要があるか、再検討の余地があると思う。	

32	15	庁舎が持つべき機能と、それ以外の物を明確に切り分け、絞り込む必要がある。例として出てくる新都市の新庁舎には議場はない。議場は、災害時にどうしても必要な物とは思えない。	
33	16	どの配置案でも、議場全体を見渡すことに、大きな差は無いと思う。	
34	17	床形式についても同上で、数十人以上のケースとは見方を変える必要がある。	
環境共生・省エネルギー機能			
35	18	省資源、省エネルギーを達成するには、高气密、高断熱が基本となる。	新庁舎においては、環境負荷低減やランニングコストの低減に配慮し、積極的に自然エネルギーや省エネルギー技術の採用を図り、効果や費用を比較しながら、導入する機能や設備を検討してまいります。
36	18	その上で、自然の有効利用を考えなければならない。	
37	18	中間期の換気による室温調整での省エネ	
38	18	高性能ガラスによる熱の侵入防止、流出防止と、冬期の太陽光利用による暖房負荷低減は矛盾する内容となるので、年間空調計画と建築設計上の工夫を組み合わせて検討する必要がある。	
39	18	雨水の有効活用、太陽光発電も検討課題。	
40	18	建物の西側にコアを設けることで西日の影響を低減し、東南側を開放的にすることで冬期の日射を有効利用する。	

41	18	夏の南西からの日射は、計画の庇と、外部の縦型ルーバーによる西日遮光を組み合わせる。	
【新庁舎の規模】			
42	-	新庁舎は何階建てになるのでしょうか。その構造により、敷地面積も変わってくると思いますが、配置計画として防災時のことを考えると、なるべく駐車場敷地、防災広場を広く取った方が良くと思います。	新庁舎は2階建ての予定です。 頂いたご意見のとおり、駐車場敷地、防災広場はなるべく広く確保できるよう今後、構造も含め計画していきます。
43	21	算定においてホール利用者用(400~500人利用)83台、職員用(163名)140台での積算は若干少ないのではないかと。特に、ホール利用時は、スタッフ等の駐車も見込むべきではないかと。ただし、今後も「具体的に検討する」とあるのでよろしく！	駐車場、駐輪場の規模については、今後の設計段階で、庁舎等の規模と併せて、具体的に検討してまいります。
【新庁舎の構造】			
44	-	庁舎を木造で作る必要性が分からない。	本町は、町有林の木材資源を有効に活用し、維持・管理・経営を行う仕組みづくりとして可茂森林組合と森林経営信託契約を締結しています。地場産業として地域資源を活かせること、また本町が環境モデル都市に選定されており、地域資源を活かした森林の再生・CO2吸収源の増加に取り組めることにより、庁舎を木造とすることに決定いたしました。 木材は水分や紫外線に弱いというデメリットはありますが、耐腐朽性を考慮した計画や定期的な確
45	-	山から切り出しただけの木では、この規模の建物を作ることは不可能。	
46	-	庁舎という性格上、耐力壁をそこここに配置することは、使い勝手や模様替えも含め、考えられない。	
47	-	木造建築で、柱、梁だけで剛構造の建物を作るためには、相当な加工材が必要となり、建設工事におけるCO2削減に逆行する。	

48	-	<p>省エネルギーを考えるとときに、建物の気密性能を高めることが非常に重要で、且つ、その気密性能を長期間維持する（維持できる）事が、長期にわたって省エネ性能を維持するポイントになる。</p>	<p>認と手入れによって、長期的な使用が可能となります。木造の耐用年数については、鉄筋コンクリート造に比べ、税法上の耐用年数が短くなりますが、木の特性を生かして適材適所に木材を使用すること、定期的なメンテナンスを行うことによって、建物の長寿命化が可能となります。</p>
49	-	<p>RC 造以外の建物は、自然の風や台風、小さな地震等で常に揺すられ続けると、接合面の緩みから隙間が出来、省エネ性能が低下することは避けられない。</p>	<p>昨今、木造庁舎も増えておりますので、それらの事例等を参考に、今後詳細については、検討しながら進めていきたいと考えております。</p>
50	-	<p>新城市の新庁舎の場合も、地元産の木材は内装や受水槽にしか使われていない。</p>	<p>新庁舎の4つの基本方針である「安心・安全な庁舎」、「町民に愛され、利用しやすい庁舎」、「スリムで機能的な庁舎」、「環境モデル都市にふさわしい庁舎」に基づき、耐震性能を満たす構造や、環境への配慮、再生可能エネルギーの活用等、オフィスレイアウトも含め、今後の設計で検討してまいります。</p>
51	-	<p>防災拠点として、想定を超えた震災が発生しても機能を維持できる。事を最優先に建物の構造を考える必要がある。</p>	
52	-	<p>私はこのような規模の木造建築を作ったことがないのでよく分からないが、地元産の資材を活用することだけを目的に木造を選択することは、問題あり。</p>	
53	-	<p>耐力壁のない木造建築は考えられないのではないか。</p>	
54	-	<p>学校建築のように、決まった大きさの部屋が規則的に並ぶ建物であれば良いが、大空間、OAフロア、といった使い勝手上の自由度の高い建築を目指すのであれば、建物の構造は、RC ラーメン構造が一番現実的では無いかと思う。</p>	

55	-	RCであれば、10m くらいのスパンは普通に作ることが出来、設計によってはもっと大きなスパンも可能となるので、建物の使い勝手も良くなると思う。	
56	-	木造の場合は、2 階の床をどうするかで、音の問題も検討しなければならない。床の耐火性能の確保、OA フロアの収め方は？	
57	-	高効率な執務室を確保するためには、柱のない大空間が理想的。 木造建築では、壁無しの大空間は難しく、制約が多い。	
58	-	新庁舎の構造は「木造」ですが、この前の「京アニ」の被害を目の当たりにすると火事は恐ろしいものです。火事対策として、木材及び構造に対する対策はどのようなになっているのでしょうか。	建築物に要求される耐火性能は、RC 造、S 造、木造において、法律の基準を満たせばどの構造も同等の耐火性能を有します。また、木造らしさを出すために、準耐火構造を予定しております。 具体的な手法等については、今後の設計段階で検討してまいります。
59	-	太陽光発電を計画するのであれば、建物の屋根は RC にしないと後が怖い。	太陽光発電の荷重を見込で設計することで、木造でも設置できると思いますので、取付方法にも配慮し、今後の構造検討の中で検討させていただきます。
60	-	業者は大丈夫と言うが、確実な保証はない。	
【新庁舎の計画地】			
61	22	洪水が予想される地区であるのに、対策が何も表現されていない。	洪水対策については、敷地内に雨水貯留槽等を設置する等、基本設計時に具体的に検討させていただきます。

62	22	防災拠点と位置づけられているのに、災害発生時のアクセスについて何も表現されていない。(周辺の道路が冠水したら、アプローチできなくなる)	ます。 災害時のアクセスを考慮して、第一次緊急輸送道路である国道21号バイパスに隣接して計画しております。また、周辺の道路についても緊急車両の進入経路等を想定し、今後計画していきます。
63	22	あの場所で防災拠点として確実に機能させるために、周辺の整備がどこまで必要となるかの検討は終わっているのだろうか？	
64	22	庁舎を作る場所として、他では考えにくいことは分かるが、庁舎以外の施設は一考の余地が有ると思う。	
65	22	今年発行された御嵩町のハザードマップには松野湖が決壊したときの想定が載っていないが、以前に配付された資料では、新庁舎計画地は1~2m浸水すると予想されている。いずれにしても、洪水によって周辺道路が冠水すれば、流れてきた土砂等によってアプローチが困難になる可能性がある。	
66	22	計画地の敷地について、亜炭鉱対策の地下充填工事のことは聞きましたが、可児川の増水、氾濫による浸水想定区域に入っておりその対策はどうなっているのでしょうか。	
67	22	可児川の直ぐ横は、地盤が悪く工事費が高騰しやすい。	今後、地質調査を行い、可能な限り工事費を抑えられるよう配慮した計画を検討してまいります。

68	23	地下に亜炭層がある地域だが、採掘跡の空洞について、調査結果や対策が何も表現されていない。(調査済みで問題が無いことが確認できている場合も含め)(周辺の道路を含め、災害時に確実に機能させることが出来るよう、調査、検討、対策が明示されなければならない)	ご指摘のとおり、亜炭層が存在する地域であると認識しています。地下空洞の有無や、対策の必要性について、調査・検討してまいります。
69	25	保育園・児童館ゾーンの考え方については、指定管理者の意見も参考としてゾーンの設定を図りたい。	指定管理予定事業者との打合せ会議を定例で開催して、意見交換を継続しております。ゾーン内の設定については、施設利用者や運営事業者が活用しやすくなるよう引き続き協議を重ねてまいります。
【事業手法等】			
70	26	事業方式を従来方式としているが、このやり方は、設計事務所の我が儘を招きやすい。特に、木造としたときの意匠面で無理をされると、後が怖い。	新庁舎等整備事業においては、可能な限り町民や職員を含めた利用者の意見を反映することが重要であると考えています。 発注方式を「プロポーザル方式」とすることで、計画案が町の方針に基づき提出され、また設計者の技術選定も可能であり、設計者の技術力を図ることができます。
71	26	意匠に凝った建物は、細かな収まりに無理が来て雨漏り、隙間風の元になりやすい。	様々な事業方式を検討した結果、本事業では利用者の意見を反映しやすい「従来方式(設計施工分離発注方式)」を採用します。
72	26	建設業者の談合を招きやすい。	また、建設業者の選定にあたっては、公平性を確保し、町民への情報提供に努めてまいります。 建物の長寿命化のため、屋根は雨漏りをしないシンプルな形状に

			するなど、建物の耐久性、維持管理を優先した、意匠を検討してまいります。
【事業費】			
73	32	ライフサイクルコストを考えると、建物の構造や意匠は大きな要素となる。	新庁舎建設においては、「安心・安全な庁舎」、「スリムで機能的な庁舎」を基本方針とし、災害に強く、また省エネで光熱費、維持管理費等のライフサイクルコストを抑えた庁舎を計画します。
74	32	シンプルで、質実剛健な作りにすれば、LCC を抑えやすいが、意匠に凝ると、保全費用が一気に増える。	
【新庁舎建設事業の進め方についてのご意見や新庁舎に望むご意見】			
75	37	庁舎の機能と関係の無い意見が多数ある。	御嵩町新庁舎建設検討委員会の意見等を基に町民、利用者の立場から意見交換等を行い、御嵩町新庁舎建設基本計画（案）に反映をしています。 今後も町民ニーズの把握に努め、設計段階で、具体的な導入機能等について費用対効果を十分に検討した上で、事業費の縮減に努めてまいります。
76	37	このような意見に引っ張られると、目標を絞り込むときにいろいろな物が紛れ込む。	
77	37	これらの中に漏れている新しい視点もあり得る。	
78	37	基本設計までの間に、本当に必要な物をしっかり絞り込んでおかないと、後で後悔する。	
79	37	絞りすぎくらい絞っておいても、後から「これが絶対に必要」な物が出てくることは有る。また、我が儘を言うてくる人が絶対に居る。	
80	37	その時に、無い袖は振れない。今、満艦飾にしてしまうと、身動きが取れなくなる。	

81	-	<p>保育園・児童館の計画案、またはコンセプトはあるのでしょうか。</p>	<p>中保育園は民間が建設し、運営も行います。</p> <p>中児童館は、町が建設し、民間が運営する指定管理者制度での運営を予定しております。</p> <p>今後、今回の新庁舎建設基本計画を踏まえながら、それぞれの施設について計画や設計を検討していくこととなります。</p>
82	-	<p>新庁舎建設とは直接関係ありませんが、災害対策本部の対情報収集、対情報発信の一翼を担う「自主防災組織」（実質「自治会」）への依頼のなかで安否確認手段のマニュアル等はできているのでしょうか。2009年9月の「ほっとみたけ」によると、自主防災会は家族台帳を整備するようにと記載されていますが、その後の個人情報保護法等の整備により現在の要領はどうなっているのでしょうか。</p>	<p>家族台帳の整備には、情報提供者の協力が必要であり、自治会内の世帯すべてを把握することは難しいと考えられますが、2009年9月の「ほっとみたけ」でお知らせしましたとおり、台帳の整備は安否確認において非常に有効な手段だと考えております。マニュアル等は特にございませんが、各自主防災会においては、出来る範囲での安否確認にご協力をお願いいたします。</p>
83	-	<p>新庁舎の規模庁舎本体にどのような機能を持たせなければならぬか。を十分議論する必要がある。</p>	<p>設計段階で、導入機能の規模等を多角的に検討する中で、コスト意識を持って事業を推進し、コスト削減に努めます。</p>
84	-	<p>あれもあつた方がいい、これも欲しい、みたいな意見を入れていたらきりが無い。</p>	
85	-	<p>庁舎、防災拠点、町民の交流、自主活動拠点のように分け、今回は何をやるか。を明確にして欲しい。</p>	
86	-	<p>みんな重要だし、何かあつたときには必要な物だから。ではまとまらない。</p>	

87	-	先にも書いたが、防災拠点は現庁舎を改修、活用することで、解体費用の削減、廃棄物の削減を図ることが出来るのではないか	
88	-	一旦空になれば、自由に改修できる。	
89	-	現庁舎のどこが弱点で、改修できそうか出来なさそうかも分からず書いているが。全ての機能を1カ所に集めることは効率的かもしれないが、全滅することもあり得る。	
90	-	今まで沢山の会合、検討を重ねてきた結果として、この(案)をまとめられたと思うが、これまでに決めたことに拘らず、新しい視点も取り入れて計画を組み直すことが出来る勇気とやる気を持っているかが問われる。	新庁舎等整備事業においては、防災拠点としての役割をはじめ、現庁舎が抱える様々な課題を解決し、質の高い町民サービスの提供等を実現するために、コスト意識を持ち、費用対効果を十分に検討した上で、ライフサイクル全体を見据えたコスト削減に努めます。
91	-	新庁舎が完成してから、「だから言ったのに」という台詞を聞かなくてすむように、今回の「パブリックコメント」を生かして貰いたい。	基本理念である「やさしく、つよく、あたたかい庁舎」の実現のため、新庁舎等整備事業を推進してまいります。
92	-	このさいだからあれもこれも。とってくる人はいっぱい居ると思う。そのような雑音に惑わされることなく、真の目的を見失わないよう、計画が進められていくことを強く望む。	

93	-	なぜ今、庁舎の建て替えが必要なのか。建て替えるのであればその目指すところはどこにあるか。今まで検討してきたことの中に、無理、無駄、面子、合理性に欠けた拘りはないか、この機会に、今一度、冷静に見直しをお願いしたい。
94	-	このような議論をするときには、「どうすれば実現できるか」を考えること。出来ない理由を並べても、前に進むことは出来ない。
95	-	計画案は、最悪の条件を想定していないように思えるところが懸念される点である。
96	-	東日本の震災の時も、想定されていたにもかかわらず、「そんなことは起きないだろう」としていたところが全滅している。
97	-	東北電力の女川原発は、当時の社長が「絶対安全」に拘ってあの高さに作ったから津波から逃れることが出来た。
98	-	役所の仕事は、往々にして「臭い物に蓋」をやって、問題が起きても知らん顔が見受けられる。このご時世に、従来 of 慣習を引きずることのないことを期待する。
99	-	民間では、精一杯考え抜いて、関係者の承認を全て取っていても過失責任を問われることがある。

100	-	往々にして、役所の仕事では、「想定外」の一言でうやむやにされてしまう。	
101	-	今回の計画が、後々お役所仕事と言われることの無いよう、関係各位の努力を期待する。	